

[Home](#) > [ニュース](#) > 2026年

京セラドキュメントソリューションズジャパン、「WatchGuard Revenue Leader of the Year」を受賞

2026-07-27

ニュース：企業情報

Share 0

京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社（社長：池田 幸生、以下：当社）は、先進的サイバーセキュリティテクノロジーのプロバイダーであるWatchGuard Technologies, Inc. (本社：米国・シアトル、CEO：Joe Smolarski、日本法人：東京都港区、以下：ウォッチガード社) より、「WatchGuard Revenue Leader of the Year」を受賞しましたのでお知らせいたします。



左：ウォッチガード社 谷口社長、右：当社 池田社長（当社東京本社にて表彰）

2026年5月28日に、インドネシア・バリ島で開催されたWatchGuard®APAC リージョン（アジア太平洋地区）のパートナーカンファレンスにおいて、2025年度のAPACリージョンにおけるアワード受賞パートナーが発表され、当社が選出されました。今回で通算6度目の受賞となります。WatchGuard Revenue Leader of the Yearは、2025年度にAPACリージョンにおいて最も高い売上を達成し、ウォッチガード社のビジネスの成長に多大な貢献をしたパ

化に真摯に取り組み、お客様のビジネスの発展に貢献してまいります。

■ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社 谷口忠彦 代表執行役員社長（当時）のコメント

このたび、京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社様が「WatchGuard Revenue Leader of the Year」を受賞されたことを心よりお祝い申し上げます。

同社は10年以上にわたりWatchGuardビジネスを推進され、日本国内におけるトップパートナーとして、多くの中小企業のお客様へ優れたセキュリティソリューションを提供されてきました。全国のOAディーラー網を活用した販売活動とともに、継続的な営業・技術支援、そして充実した遠隔サポート体制を通じて、ユーザーの皆様が安心してFirebox※をご利用いただける環境を実現されています。

2025年は既存ユーザーのリプレイス需要の獲得だけでなく、新規顧客開拓においても大きな成果を上げられ、最高売上という素晴らしい実績につながりました。このたびの受賞は、同社の長年にわたるご尽力とお客様からの厚い信頼の証であると考えております。今後も京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社様には、日本の中小企業市場におけるセキュリティ強化を牽引する重要なパートナーとして、さらなるご活躍を期待しております。

※ウォッチガード社が提供する企業ネットワークの出入口に設置し、さまざまなサイバー攻撃から社内システムを保護するUTM（Unified Threat Management：統合脅威管理）のこと。

■ウォッチガード社について

ウォッチガード社は、ネットワークセキュリティ、エンドポイントセキュリティ、セキュアWi-Fi、多要素認証、ネットワークインテリジェンスを提供するグローバルリーダーとして、全世界で約18,000社の販売パートナーおよびサービスプロバイダーを通じて、250,000社以上の企業に信頼性の高いセキ



ハ、アジア太平洋地区、中南米に文仕を展開しています。

日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多彩なパートナーを通じて、国内で拡大する多様なセキュリティニーズに応えるソリューションを提供されています。

会社HP：<https://www.watchguard.co.jp/>

本件に関する問い合わせ先

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 企業広報部

お問い合わせ

※ ニュースリリースは報道機関向けの発表文章であり、そこに掲載されている情報は発表日現在のものです。
ご覧になった時点ではその内容が異なっている場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

Put knowledge to work. 知識を仕事に活かす。

京セラドキュメントソリューションズは、1934年の創業以来、先端技術を探求・展開して来ました。私たちは、お客様が情報を知識に変え、その知識を効果的に利用し、競争力を高めることをお手伝いします。高度な専門性と協調・共感の企業文化を背景に、お客様がさらなる変革に向けて「知識を仕事に活かす」ためのサポートを提供します。

